

New! 東大野球部 メールマガジン Vol.12

「あいつ」

11月も終わりに近づき、寒さも強くなってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

新体制となつてから約一カ月が経ち、今年の試合も28日の関東学院大とのオープン戦のみとなりました。これからは自分の苦手な部分の克服をしたり、長所を伸ばしていけるような練習を重ねていき、春では今年よりも活躍出来るよう、頑張つてまいりますので、応援よろしくお願い致します。

東大野球部 今後の予定

〈OP戦〉

11月28日 vs 関東学院大@東大球場 12:00~

〈小学生野球教室〉

12月4日 @東大球場 9:00~

一誠寮大解剖!

今回は東大野球部の合宿所である、一誠寮について特集したいと思います!普段はあまり知られない一誠寮での暮らしを紹介します。

一誠寮は東大球場から徒歩約10分、地下鉄南北線東大前駅近くにあります。入寮できる選手は30名ほどです。

食事..現在は、朝食と夕食をアスリート専門の給食業者に委託し、栄養価やカロリーが計算された食事になっています。寮外生も摂食可能です。

また一誠寮の食堂では、リーグ戦決起集会なども行われます。

(写真)ロビー
みんなの憩いの場



(写真)キッチン
みんなの共用スペースです。



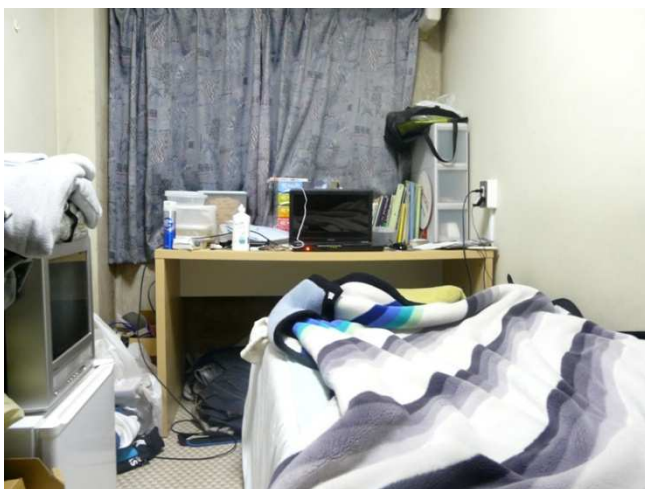
(写真)食事盛り付け例
選手たちの食事です。



自炊をする選手もいます。料理の腕はかなりのものかどうか?

部屋…一部屋1〜2人で生活しています。男子寮と
うだけあって、部屋のきれいさは人によってかな
りまちまちだとか…。噂によると、香取選手の部屋
が一番きれいだそうです♪

(写真) 吉津マネの部屋
きれいに整頓されています…ね? (^_^:)



一誠寮はいかがでしたか? 築四十五年というだけ
あってかなり古いですが、伝統ある建物で選手は楽
しく生活しています。ご紹介した場所はほんの一部
ですが、少しでも皆様に一誠寮の雰囲気を楽しんで
いただければ幸いです。

今月の注目選手! (第2回)

学生コーチ対談☆

今回は、新4年生の4人の学生コーチ、荒木謙太
郎(3年・奈良)・伊藤怜史(3年・海城)・竹内一
喜(3年・岡崎)・中村信博(3年・高松)に、学生
コーチになった理由や仕事、チームの課題などにつ
いて対談してもらいました。

マネージャー「どうして学生コーチになったのです
か?」

伊藤「自分は2年の冬くらいからノックとかバツテ
イングピッチャーをやり始めたんですが、どうし
てそういうことを始めたかというところ、単純にノッ
カーがあまりいなかった。前の学生コーチの山本
さんくらいしかなくて、このままじゃまずいと
思ったんです。選手をやっているのと同じような形
でチームに関わっていくのとどっちがいいかなと
考えて、結局学生コーチを選びました。」

竹内「自分が決めたのはまあ春のリーグ戦が終わっ
てからなんですけど、学生コーチになったきっかけ
というのは2つあって、その時自分は怪我してて
まず自分が選手としてやっていけないということ
と、あとは春のリーグ戦を見てきてピッチャーの
成績とかがすごい悪くなっていて、なおかつ試合
中のピッチャーの準備とかもうまく回っていか
ないとかいう結構ありえない状況だった。そのとき
のキャプテン前田さんの負担も多くてプレーに集

中できないとかいうのもあってそういうところを
上手く回していく人も必要だと思って、そこ
から学生コーチの必要性を感じてやろうと思いま
した。」

中村「自分はプレーでは貢献できなかったから、な
んとかしてチームの勝利に貢献できることを自分
で考えて、何をやるべきかなと考えたときに、自
分がこれまで前の監督の中西さんと一緒にやって
きたデータの分析とかそういうところからチーム
の為に思ったらいかなと思いました。」

マネージャー「学生コーチの仕事ってどういうことを
しているんですか?」

荒木「うちのチームだと学生コーチの仕事っていう
のは大きく分けて二つあって、一つは教える人間
としてチームの人たちを上手くするという面、も
う一つは実際の試合の中での戦術面を担う、たと
えば三塁コーチをやったりとかベンチからサイン
出したりとかして実際の試合の中でチームを勝ち
に導くという面があります。」

マネージャー「実際に学生コーチをやってきて見えた
課題などは?」

荒木「半年くらい前から学生コーチをやり始めてそ
の二つの役割もやってきたけれど、なかなかうまく
くするということが難しい。試合のなかの戦術と
かそういう取り組みは結果がすぐ出てくるから自
分自身のやったことに対するフィードバックはす
ごく得られる。あれは良かったこれは悪かったと

かいうのはすぐに分かってだんだん良くなってく
るんだけど、上手くなるってことは1日2日の短
いスパンではわからないことだし、ちょっとよく
なっているように見える人でも最終的にはすぐ
だめになっちゃったりすることも多い。だから上
手くするっていうすごくシンプルなのが究極的
に難しいっていうことをすごく実感している。で
もそれをやらないと勝てないのも明らかになっ
たので、来季に向けてはそういうところを勉強して
引き出しを増やせるようにしていきたいです。」

伊藤「これまで半年くらいでやってきたのは各個人
のスイングとかバットイングに関していろいろア
ドバイスとかをしてきたんですけど、実際秋リー
グではまだそんなに成果が出てこなかったので一
通り取組の方法などをもう一度考えてやっていか
なきゃいけないという感じです。チームの課題は
考えれば考えるほど山積みになっていて、簡単に
は解決しようがない。でも一個ずつ潰していかな
いと勝ちようがないので、具体的にどうするか
ということとはともかく、まずは空気から変えてい
かなければいけないという気がしています。」

竹内「自分も秋のリーグ戦を経験して思っていた以
上に結果を出すのは難しかった。結果的に一勝に
終わってしまったって来春に向けての課題はすごくた
くさんあって・・・本当に難しいです。」

マネージャ「学生コーチって縁の下の力持ちという
感じで、目立たないけれど大変で、でもその分や
りがいいという印象があります。」

中村「やっぱりこういうことをやる人ってあんまり
いないと思うんです。はつきり言って分析とかは
単調な作業で面白くないこととかいっぱいあるん
ですけど、それでもやっぱり相手のくせとかが
見つかってそれによって誰かがヒットを打ったり
だとか、自分が調べあげたデータによってヒット
が出て点が入って、チームの勝利に貢献できた時
には本当にめちゃくちゃ嬉しいです・・・、涙が
出るほど！」

(写真左から) 荒木、伊藤、竹内、中村



編集後記

新体制が発足してから一カ月ほどが過ぎ、野球部
全体の雰囲気も落ち着いてきました。来週の日曜に
は今年最後のオープン戦がございます。新たな幹部
のたのしい姿を皆様にお見せすることができると
思いますので、ぜひ東大球場に足をお運びくださ
い。今後とも温かいご声援をよろしくお願い致しま
す。

お問い合わせ先

〒113-0023
東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮
TEL&FAX 03(3811)5800
メールアドレス office@tokyo-jbe.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等が
ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

